

お持ちでない人は
申請しましょう

マイナンバーカードで マイナポイントが もらえる！



マイナンバーカードは、12桁のマイナンバーが記載されたICチップ付のプラスチック製カードです。

表面には、顔写真、氏名、住所、生年月日、性別が記載され、身分証明書としての利用をはじめ、各種証明書のコンビニエンスストアでの取得時に利用できます。

令和3年3月からは健康保険証としても使えるようになり、ますます利用が進むマイナンバーカード。スマートフォンで簡単に申請が可能です。

マイナポイントをもらう

マイナンバーカードを取得し、〇〇ペイなどの民間キャッシュレス決済サービスを使って、2万円分のチャージや買い物をする1人あたり上限5千円分のマイナポイントがもらえます。

※9月から開始予定。予算が上限に達した場合は、締め切ることがあります。

マイナンバーカードのおさらい

STEP 4

お知らせが届いたら
市役所で受け取ります

個人番号カード交付通知書がはがきで届きます。マイナンバー通知カード、本人確認書類、認印等をお持ちの上、市役所窓口でマイナンバーカードを受け取ってください。同時に暗証番号を登録します。



STEP 3

その他申請情報を入力
受付が完了します

画面の案内にしたがって、生年月日、電子証明書の発行希望の有無、氏名の点字表記希望の有無など必要事項を入力し送信すると、申請完了のメールが届きます。



STEP 2

サイトにアクセスし
スマホで顔写真を撮影

登録されたメールアドレス宛に通知される申請者専用WEBサイトにアクセスし、スマートフォンのカメラで撮影した顔写真を登録します。



STEP 1

WEB サイトに
メールアドレスを登録

スマートフォンのカメラで交付申請書のQRコードを読み取り、申請用WEBサイトにアクセスしてメールアドレスを登録します。



撮影協力：東温市観光大使 清原梨央さん

マイナポイント予約の支援窓口を設置

マイナポイントを受け取るには、マイナンバーカードと「マイキーID」の設定が必要です。設定はご自身のパソコン（カードリーダーが必要）またはスマートフォンから行えます。

市役所でも設定の支援窓口を設置していますので、

開庁時間に、マイナンバーカードを持ってお越しください。
＊カード交付時に設定したパスワード4桁が必要です。

マイナンバー総合フリーダイヤル

☎ 0120-95-0178（フリーダイヤル）

9時30分～20時（平日）／9時30分～17時30分（土日祝）



1_保健室の扉に貼ったシトラスリボンの紹介／2_各教室に飾った手作りのシトラスリボン／3_田中輝美先生（写真右）と、協力してリボン制作に取り組んだ安部雅子先生（写真左）



つながれ シトラスのわ

新型コロナウイルス感染症患者や医療従事者への偏見や差別を防ぐと、県内の市民グループが作成した「シトラスリボン」が、市内の学校でも広がっています。

重信中学校に勤務する養護教諭の田中先生は、「差別を未然に防ぐには、正しい知識が必要。シトラスリボンの運動を生徒の皆さんに知ってほしい」と4月末に学校のホームページに取り組みを紹介。以来、啓発活動が続いています。



シトラスリボンプロジェクトは、かんきつの葉の色をイメージしたリボンのマークをシンボルにした差別や偏見を防ぐ活動です。3つのリボンの輪が「地域」「家庭」「学校や職場」を意味しており、3つの場所がつながって差別のない社会を創る願いが込められています。

地域・家庭・学校のつながり

「記事を見た保護者さんから『いい取り組みですね』との声をいただきました。生徒が登校したときに、気づいて話が広がればとシトラスリボンを保健室に飾ることにしました。職場でも賛同する先生が声をかけてくれるようになりました。美術科教諭の安部先生が飾りやすいように手を加え、今では校内のほぼすべての教室にシトラスリボンの飾りをつけています。

手作りのリボンを教室に

こころの相談窓口（こころのホットライン）

☎ 0120-612-155（フリーダイヤル）

対応時間：9時～21時（土・日・祝日含む）

新型コロナウイルス感染拡大により、心のケアが必要な人を対象に、こころのホットラインを設置しています。

- (1) 感染された人、ご家族など
- (2) 医療従事者、学校、施設職員など対策や支援に関わる人
- (3) 休業・失業・休校などにより、不安や心配を抱えている人

「自分にそんな気がなくても、相手を傷つけることを言っているかもしれない。差別や偏見を防ぐ土壌が必要です」と話す田中先生。「病気に悩んでいる人が『ただいま』『おかえり』『がんばってね』と言ってくれる人がいい。生徒たちが気づき、自分たちで活動を始めようとするきっかけを作ってあげられれば」と先を見据えました。

『おかえり』『がんばってね』が言いあえるまち